

発言通告書（総括表）

令和3年第4回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	小林たかや議員 (自民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 区の組織・人員体制について 2 新型コロナ対策について 3 DXの取り組みの進捗状況について 4 出張所のあり方について 5 子育て施策について 	<ol style="list-style-type: none"> 1 強固な人員体制の構築に向けた基本的な考え方について 2 人材不足の深刻化による組織への影響と対応について 3 喫緊の課題である保健所の体制やデジタル化の推進体制等の強化について <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染の第6波に備えて 2 ワクチン接種第3回目について <ol style="list-style-type: none"> 1 アフターコロナを見据えた区のデジタル化の推進について 2 各部所の個別システムの全庁的なガバナンスについて 3 職員のITリテラシー(情報活用能力)について <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍の一年間に出張所は、地域にどのような役割を果たしてきたか 2 コミュニティ活動再開における出張所の新しい役割について 3 地域に最も身近な出張所が地域の魅力、個性を発揮させるハブを目指してはどうか <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て・教育施策のビジョンについて 2 今後の子育て施策の展開について <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者センター跡地の保育所整備 ・和泉小・こども園の整備と和泉ポンプ場跡地利用 ・富士見みらい館のPFI終了後の運営と今後のビジョンについて 3 ICT教育の今後の展開について 	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	木村議員 (共産)	<ol style="list-style-type: none"> (1) コロナ危機の体験を活かして (2) 気候危機対策について 	<ol style="list-style-type: none"> ①医療供給体制の強化について <ul style="list-style-type: none"> ・都立・公社病院の独立行政法人化についてなど ②保健所と清掃事務所の体制の強化 ③くらしと営業への支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> 国保料の子どもの均等割軽減と、住まいに困っている人への支援 <p>「気候非常事態宣言」の発出をふまえ、ゼロエミッションをめざす本格的取り組みを具体的には公の施設の省エネ、再エネ強化や、省エネ化推進の助成制度の拡充などを求める</p>	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和3年第4回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
2	木村議員 (共産)	(3) 持続可能なまちづくりについて	<p>持続可能な開発とは、「未来の世代が自分たち自身の欲求を満たすために能力を減少させないように現在の世代の欲求を満たすような開発」と定義されている。</p> <p>持続可能なまちづくりにむけ2点提案する。</p> <p>①市街地再開発事業等を住民がコントロールできるしくみづくり</p> <p>②急増する老朽化した中小ビルを地域社会に継続的につなぎとめ、良好な形で残している制度づくり</p>	区 長 関係 理事者
3	大串議員 (公明)	<p>1. Society5.0 は現実となりつつある。区としてどう準備し対応していくのか</p> <p>2. みどりの保護と育成について</p>	<p>ICT の技術進歩は目覚ましく、特にビッグデータは仮想空間に実社会そっくり社会を築くことも可能となっている。その仮想空間における社会において AI を活用すれば社会の課題解決へ最適解を導き出すことが可能だという。当然実社会へ応用も可能である。一方、注意しなくてはならない点もある。</p> <p>そのような Society5.0 は現実となっている。そこで、</p> <p>1) Society5.0 に対する認識(考え方)と区としての対応は</p> <p>2) 国は、AI を有効かつ安全に利用できるための「人間中心の AI 社会原則」、また「スマートシティガイドブック」を公表した。この原則やガイドブックを踏まえ、区としての Society5.0 構想(スマートシティ構想)を発表してはどうか。また、モデル地区を定めて行政、企業、区民が参加してのスマートシティを試みてはどうか。</p> <p>3) Society5.0 という社会において、自分らしく豊かに生きていくために必要な教育とは。</p> <p>樹木に対する価値が改めて見直されている。みどりの保護と育成がより大事になっている。そこで、</p> <p>1) 仮称「千代田区みどりの保護と育成に関する条例」の制定を提案する。所見は。</p> <p>2) みどりの保護と育成についての指標は、現在緑被率や緑視率を用いているが、より樹木の実態を表す樹冠被覆率を用いてはどうか。</p> <p>3) 街路樹について</p> <p>東京都の「街路樹診断等マニュアル」がこの4月に改定された。その目的は、今までの倒木等の危険な街路樹の発見から街路樹を健全に保つための維持管理へと変更することにあつた。この都のマニュアルを参考に区としての「街路樹保護育成マニュアル」を作成してはどうか。</p>	区 長 教 育 長 関係 理事者